

平成28年度 第1回「大人のためのブックトーク」 報告

○紹介された本

小林館長：「曾根崎心中」 近松門左衛門

「白い巨塔」 山崎豊子

「基本の色彩語 普遍性と進化について」 ブレント・バーリン

石井司書：「あめが ふるとき ちょうちょうは どこへ」 メイ・ゲアリック

「小さい生きものたちの不思議なくらし」 甲斐信枝

「センス・オブ・ワンダー」 レイチェル・カーソン

○感想等

- ・小林先生のブックトークを楽しみにして来ました。3冊とも「読みたい」という気持ちになりました。石井司書さんの「雨からはじまるブックトーク」は、テーマがあって、とても楽しかったです。また来たいと思います。
- ・小林先生のブックトークに、いつのまにか引き込まれていました。どの本の紹介も、今後読んでみたいと思わせるものがありました。本の深い読み方の必要性に気づかされました。
- ・これから古典などを読んでみたいと関心をもっていたので、又知識も豊富で楽しくお話を聞くことができました。司書さんのおすすめの本も読んでみたいと思っています。先生のファッションもユニークで、個性的でとてもよかったです。
- ・軽快なトークで、本の魅力が伝わり、楽しく参加できました。今まであまり興味のなかった分野の本にも挑戦してみようと思います。山崎豊子の本も久しぶりに何冊かチャレンジしたいと思います。
- ・白い巨塔の紹介は、先生本人の経験を交えての話だったので、ぜひ読んでみたいと思った。また、最後の「基本の色彩語」では、私が人類学を学んでいるので、とても興味をもち、今後、研究に役立つかもしれないので、読もうと思う。

